

平成22年5月14日現在

研究種目：若手研究（A）

研究期間：2007～2009

課題番号：19683008

研究課題名（和文） 問題解決型の道徳授業に関する理論構築と実践研究

研究課題名（英文） The construction of theory and the practical research concerning the problem-solving type moral teaching method.

研究代表者

柳沼 良太 (YAGINUMA RYOTA)

岐阜大学・大学院教育学研究科・准教授

研究者番号：30329049

研究成果の概要（和文）：

本研究では、問題解決型の道徳授業を文献研究によって理論的に構築し、それを実際に授業で行ってその効果を検証した上で、改善を繰り返しながら実践的研究を行った。

まず、問題解決型の道徳授業に関する基礎理論を文献研究によって心理学的かつ社会的な見地から高度かつ緻密に構築することができた。特に、ジョン・デューイとのプラグマティズムやリチャード・ローティのネオ・プラグマティズムと教育理論を道徳教育理論に関連づけて問題解決型の道徳授業を理論的に解明することができた。また、道徳授業と特別活動の連携を図ることで、道徳実践力を育成する教育方法を開発した。

次に、問題解決型の道徳授業を開発・実践・省察することによって、その教育的効果と意義を多角的に検証することができた。こうした問題解決型の道徳授業を広めるために、岐阜県をはじめ、広島県、愛知県、東京都、栃木県などの小中学校で講演や指導訪問を行った。

さらに、海外に出張してアメリカの人格教育の主要な指導者であるトーマス・リコーナ博士やマチュー・デイビッドソン博士と連携・協力することで、問題解決型の道徳授業の多彩な応用アプローチを開発・実践することができた。また、人格教育の理論と実際的方法をわが国の道徳教育と関連づけて紹介することができた。

研究成果の概要（英文）：

This research constructed theoretically the problem-solving type moral teaching method, and improved it through verifying the effect of this teaching method.

At first, this research could construct highly and elaborately the base-theory concerning the problem-solving type moral teaching methods by the literature investigation from the viewpoint of psychology and sociology. Especially, I could illuminate theoretically the problem-solving type moral teaching related with John Dewey's pragmatism and his educational theory and Rorty's neo pragmatism and his educational theory. And this research developed the educational method to nurture moral practice ability by collaboration moral teaching and special activity.

Secondary, this research could verify the educational effects and significances of the problem-solving moral teaching method by developing, practicing, and reflecting this method all parts of our country. I visited some elementary schools and junior high schools, especially, Gifu, Hiroshima, Aichi, Tokyo, and Tochigi for the purpose of popularizing this teaching method.

Thirdly, this research could develop and practice the various applied approaches of the problem-solving type moral teaching method by collaborating with Dr. Tom Lickona and Dr. Matthew Davidson and teachers of American character education. And I could introduce the theory and practical method of character education related with moral education in Japan.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,400,000円	420,000円	1,820,000円
2008年度	1,700,000円	510,000円	2,210,000円
2009年度	1,200,000円	360,000円	1,560,000円
年度			
年度			
総計	4,300,000円	1,290,000円	5,590,000円

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：問題解決、道徳授業、指導法、デューイ、プラグマティズム、人格教育

1. 研究開始当初の背景

従来の我が国の道徳授業は、国語科の授業のように、物語文を読み取り、登場人物の心情を読み取る形式の画一的で形式的な授業であった。こうした道徳授業では、子どもの思考と感情と行為が分離してしまい、子どもの道徳的実践力を育成することができないと考えられる。

そこで、本研究では、ジョン・デューイとリチャード・ローティのプラグマティズムと教育理論を基にして道徳授業の理論を構築する必要がある。また、アメリカの人格教育の実践方法を参考にしながら、問題解決型の道徳授業を具体的に開発・実践することを計画した。

2. 研究の目的

問題解決型の道徳授業に関する理論を構築すると共に、具体的な指導法を開発することを通して、我が国の道徳授業を刷新することを目的とする。

できるだけ具体的な道徳指導法を構想し、それを学校現場の授業で実践することを通して検証し改良を行うことで、より効果的な指導法を開発するようにする。

また、アメリカの人格教育と我が国の問題解決型の道徳授業とを比較検討することを通して、道徳授業に関する国際共同研究を行うことを目的とする。この日米比較研究によって我が国の道徳授業を国際水準まで引き上げることを目指す。

3. 研究の方法

まず、文献研究を通して従来の道徳授業を批判的に検討すると共に、国内の多様な道徳授業の理論と方法を比較検討することで、問題解決型の道徳授業に関する理論を独自に構築する。特に、デューイのプラグマティズムと問題解決学習およびローティのネオ・プラグマティズムと啓発的教育を参考にしながら理論を構想する。

また、リコーナの人格教育の理論と方法を参考にしながら、我が国の道徳授業と適合した授業スタイルを具体的に構想する。

次に、国内で実際に問題解決型の道徳授業を開発・実践して、その効果を検証・省察することで改良を加えていく。できるだけ全国の小中学校を指導訪問して、事例検討を数多く行う。

第三に、渡米して実際にアメリカの人格教育を実践している小中学校を視察して、問題解決型の道徳授業の改良に役立てる。また、日米の道徳授業を比較検討することで、より効果的な道徳指導法を開発する。

4. 研究成果

問題解決型の道徳授業に関する基礎理論を文献研究によって高度に構築することができた。その研究成果として、『道徳教育の研究～生きる力を育む道徳指導法～』や『ローティの教育論～ネオ・プラグマティズムからの提言～』を刊行した。

また、問題解決型の道徳授業の学習指導過程を詳細に検討した。その研究成果としては、論文「問題解決型の道徳授業の概要と理論的

背景」、「学習指導過程と具体的な授業の流れ」、「資料分析と発問について」、「小学校下学年における授業実践9例の紹介」、「小学校上学年における授業実践4例の紹介」などで公表した。

さらに、問題解決型の道徳授業を特別活動や生徒指導・教育相談に関連づけて検討した。その研究成果としては、「体験からの学びを通じた道徳授業の探究」、「問題解決能力を育成する特別活動～デューイの教育理論に基づく特別活動のあり方～」、「教育臨床問題としてのいじめとその対策」などがある。

次に、これまでの問題解決型の道徳授業の成果を研究大会や講演会や研修会で発表した。特に、岐阜県内の小中学校および広島県、長野県、栃木県の小中学校へ指導訪問を行い、教育委員会や地域の研究発表会で講話や講演を行うと共に、問題解決型の道徳授業の普及に努めた。

特に、平成21年度から22年度にかけて広島県安芸高田市立吉田小学校で行われた問題解決型の道徳授業に関する総括を行い、広島県小学校道徳教育研究会で発表した。その研究成果は上廣倫理財団から表彰を受けた。

全国で問題解決型の道徳授業を開発・実践することによって、その効果と意義を多角的に検証することができた。その研究成果としては、編著書『問題解決型の道徳授業 事例集』として刊行した。

第三に、アメリカの人格教育の研究者と連携・協力することで、問題解決型の道徳授業の多彩なアプローチを開発・実践することができた。

特に平成20年11月にニューヨーク大学コートランド校にある第4第5R研究所のトーマス・リコーナ博士を訪問し、人格教育について共同研究を行った。また、アメリカで人格教育を推進する優秀な学校としてウォータールー中学校、ミラード・ホーク小学校、モーガン・ロード小学校を訪問して教育実践を視察した。これらの教育実践に関する記録は、今後刊行する予定である。

また、世界道徳教育学会 (Association of Moral Education) で研究上の交流することで、我が国の道徳授業の内容と方法を説明すると共に、各国の道徳授業の長所を取り入れるべく努めた。

以上の研究は今後の基盤研究Cでも継続的に検討していく予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計14件)

- ①柳沼良太、「どんな子にも必ずいいところを見つけてくれる先生」、『児童心理』2010年4月号臨時増刊、116-120頁、2010年。
- ②柳沼良太、「教育臨床問題としてのいじめとその対策」、『岐阜大学教育学部研究報告 人文科学』58巻2号、2010年。
- ③柳沼良太・西村史子「体験からの学びを通じた道徳授業の探究」、『岐阜大学教育学部研究報告 教育実践研究』、第12巻、2010年。
- ④柳沼良太、「問題解決能力を育成する特別活動～デューイの教育理論に基づく特別活動のあり方～」、『岐阜大学教育学部研究報告 人文科学』第58巻1号、2009年。
- ⑤柳沼良太、「デューイの宗教論再考～自我の統合と民主主義社会の発展を目指して～」、『日本デューイ学会紀要』第50号、161-170頁、2009年。
- ⑥柳沼良太、「問題解決型の道徳」、『信州発教育実践ブックレット』、信濃教育会、548-555頁、2009年7月。
- ⑦柳沼良太、「問題解決型の道徳授業 ⑤ 小学校上学年における授業実践4例の紹介」、『道徳と特別活動8月号』、文溪堂、42-45頁、2009年7月。
- ⑧柳沼良太、「問題解決型の道徳授業 ④ 小学校下学年における授業実践9例の紹介」、『道徳と特別活動』7月号、文溪堂、42-45頁、2009年6月。
- ⑨柳沼良太、「問題解決型の道徳授業 ③ 「資料分析と発問について」、『道徳と特別活動』6月号、文溪堂、36-39頁、2009年5月。
- ⑩柳沼良太、「問題解決型の道徳授業 ② 学習指導過程と具体的な授業の流れ」、『道徳と特別活動』5月号、文溪堂、32-35頁、2009年4月。
- ⑪柳沼良太、「問題解決型の道徳授業 ① 問題解決型の道徳授業の概要と理論的背景」、『道徳と特別活動』4月号、文溪堂、42-45頁、2009年3月。
- ⑫柳沼良太、「問題解決型の道徳授業の理論と方法～デューイの道徳教育論と関連づけて～」、『道徳と教育』第326号、日本道徳教育学会紀要、166～176頁、2008年。
- ⑬柳沼良太、「デューイの道徳教育論と道徳授業論～問題解決型の道徳授業を求めて～」、『日本デューイ学会紀要』第48号、43-53頁、2007年。
- ⑭柳沼良太、「問題解決型の道徳教育の理論と実際(3)」、『岐阜大学 教師教育研究』、

第3号、163-169頁、2007年。

〔学会発表〕（計7件）

- ①総合的道德教育プログラム主催のフォーラムで2010年2月17日に「道徳指導法のあり方」について講演、主催・東京学芸大学。
- ②広島県小学校道徳教育研究大会で2009年11月5日に「自己の生き方を考え、実践につながる道徳授業の創造」を講演。
- ③第14回道徳教育シンポジウムで2009年8月6日に「子どもたちを変える魅力ある道徳授業とは」について講演。主催・財団法人上廣倫理財団。
- ④信濃教育会で2008年11月20日に「問題解決型の道徳授業」について講演する。参加者120名、主催・信濃教育会。
- ⑤日本デュイ学会のシンポジウムで2008年10月11日、「デュイの宗教論再考～自我の統合と民主主義社会の発展へ向けて～」について講演、参加者150名。
- ⑥日本道徳教育学会のシンポジウムで2008年6月29日、「新たな道徳授業の開発・実践・省察～『道徳の時間』特設50周年と今後の展開～」について講演。
- ⑦日本道徳教育学会において2007年11月18日に「問題解決型の道徳授業の理論と方法」を個人研究発表した。

〔図書〕（計7件）

（単著）

- ①柳沼良太、『問題解決型の道徳授業 事例集』、開成出版、全210頁、2009年。
- ②柳沼良太、『改訂 道徳教育の研究～生きる力を育む道徳指導法～』、開成出版、全183頁、2008年。
- ③柳沼良太、『ローティの教育論～ネオ・プラグマティズムからの提言～』、八千代出版、全235頁、2008年。
- ④柳沼良太、『道徳教育の研究～生きる力を育む道徳指導法～』、開成出版、全188頁、2007年。

（共著）

- ⑤柳沼良太、「子どもの実態をふまえた道徳・特別活動の指導」「学校教育課程のバランスと総合学習・道徳」、『教職リニューアル～教育の最新事情を効果的に学ぶために～』、ミネルヴァ書房、全199頁、担当部分112～115頁、121頁、2009年。
- ⑥柳沼良太、「問題解決論とその展開」、『道徳教育の入門—その授業論を中心に—』、教育開発研究社、担当部分200-210頁、2008年。

- ⑦柳沼良太、「教育哲学」「プラグマティズム」、『カウンセリング心理学事典』、誠信書房、全563頁、担当部分42～44頁、49～50頁、2008年

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

柳沼良太 (YAGINUMA RYOTA)
研究者番号：30329049

(2) 研究分担者 なし

(3) 連携研究者 なし